62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】							
事業所番号	1270400920	270400920					
法人名	株式会社メディウェル						
事業所名	グループホームみつわ台桜レジデン	ンス					
所在地	千葉市若葉区みつわ台1-1-4						
自己評価作成日	平成23年2月16日	評価結果市町村受理日					
※事業所の基本	情報は、公表センターページで関	閲覧してください。(↓;	このURLをクリック)				
基本情報リンク先							
【評価機関概要(評価機関記入)】						
評価機関名							
所在地							
訪問調査日	訪問調査日						

・医療面には、特に力を入れ、利用者様の小さな変化にも気を配りながら、医師と綿密な連携を図って おります。

・四季の移り変わりを肌で感じていただけるように、天気の良い日は、その人のペースに合わせて散歩に出かけ、雨天時などは、室内で歌集に合わせて歌うことにより楽しい時間を過ごせるようにしています

・ホーム内では、家庭的な雰囲気を大切にし、利用者様が安心していただけるように、職員が目配り・心配りしています。

・自立支援の視点を大切にし、できること・できないことを把握し、利用者様が必要とされていると感じら

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
	項 目	↓該닄	取り組みの成果 当するものに〇印		項目	↓該	取 り 組 み の 成 果 当するものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	0	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	0	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
80	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
31	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。〕

自	外	項目	自己評価	外部評価	5
己	部	- 現 日 -	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		□ 基づく運営 ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	ホーム内に掲示している。職員は理念に 沿ったケアの実践を心掛けている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	町内会の一員として、総会・公園掃除への 出席。体育祭・シニアフェスティバルへの参 加等進んで参加している。		
3		て活かしている	運営推進会議・夕涼み会への参加を依頼している。 月一度、桜だより(広報誌)を発行。来訪者 様にお渡ししている。 広報誌を地域の掲示板に掲示している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	ニヶ月に一度、運営推進会議の実施を心 掛け、ご家族様の意見を反映するようにし ている。		
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	高齢施設課・高齢障害支援課・社会援護 課・地域包括支援センターと連携をとってい る。		
6	(5)	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解 しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	身体拘束廃止研修を受講し、拘束のないケアを実践している。 日中、緊急時以外は玄関の鍵は無施錠です。		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止研修を受講し、実践してい る。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう 支援している	制度を学ぶ機会を持ち、家族よりの相談に応じ、必要な場合、支援を心掛けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	入所時に十分に説明をし、理解・納得した 上で、契約しています。		
10	(6)	〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員な らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	月一度、桜だより(広報誌)を発行。又、投稿箱を設置し、ご家族様より、常に意見・要望が聞けるようにしています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度の業務ミーティングで、職員の意見 や提案をまとめ、運営に反映させている。		
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	実績を手当てとして、毎月給与に反映でき るよう努力している。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこと を進めている	各種、研修の機会を設けている。 月一度の業務ミーティングにて、スキルアッ プできるよう、職員より研修内容の希望も聞 いている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	市GH連絡会の主催する研修に積極的に参加し、同業者との情報交換の場として役立てている。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	と心な	:信頼に向けた関係づくりと支援	_		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困っていること、不安な事に気づけるよう良く観察し、また、会話する中で本人の思いを理解できるように努めている。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	小まめに電話連絡をし、ご家族の意向・要望に耳を傾け少しでも早く信頼関係を築けるよう努めている。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	入所前の面接時に、管理者・ケアマネー ジャー等が、アセスメントをし、サービス担 当者会議を開催して支援内容を検討してい く。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で、出来ることはして頂き、出来ないことは一緒に行い、自信を失わないように支援している。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	習字や、近隣への外出等、お手伝い頂ける よう呼びかけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人の来訪時、温かく笑顔で対応している。 ホームでの様子等お伝えしながら場が馴染むよう努めています。		
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう な支援に努めている	利用者同士の関わり合いが持てるよう、会 話のきっかけを作るよう努め、一人一人が 孤立しないよう支援している。		

自	外	- F	自己評価	外部評価	西
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	わかる事はお答し、相談・支援に努めてい る。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	•		
23	(9)	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	今までの暮らし、個々の趣味等を情報収集 し、ご本人の意向を尊重しながら進めてい る。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	ご本人・ご家族様に昔の思い出や暮らしの 情報を伺い、これまでの生活の把握に努め ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活のパターンに沿うようにしながら、利用者様のニーズに沿った支援を 行なう為、現状の把握に努めている。		
26	(10)	について、本人、家族、必要な関係者と話し合	サービス担当者会議の開催、毎月のモニタ リング評価、ご家族・ご本人の要望等を確 認しながら介護計画に反映させている。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに細かく記録し、日々のケア・介護計画に活かしている。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族と連携を取りながら、必要に応じて、 地域包括支援センター等に相談ながら、情 報を取り入れている。		

自	外		自己評価	外部評価	西
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の社会資源を把握し、活用しながら、 地域に見守られ、安全で豊かな生活を楽し めるよう支援している。		
30		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援し ている	月二回の往診を実施。他の医療機関受診 希望の際は、診療情報を提供し、適切な医 療が受診できるよう心掛けている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	を共有し、必要時には専門医への通院等支		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている。	入院した際は、職員も病院に出向き、病院 関係者・ご家族と情報交換・相談に努めて いる。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早 い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業 所でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる	契約時や運営推進会議時等で説明し、ご本人・ご家族の希望に沿った支援ができるよう研修の機会を設け、チームでの支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	日中・夜間別に急変時・事故発生時のマニュアルを職員の目の届く場所に掲示している。 市主催の救命講習に参加している。		
35	(13)	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	年二回の防災訓練と地震訓練を行っている。 水害については、地域住民との連携も図っ ている。		

自	外		自己評価	外部評価	T
口即	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、さりげなく行うよう努めてい る。		
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう、常に問いかけ、選んで 頂きながら本人の意向を尊重している。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	悩みや訴えに対し、傾聴し、本人の納得で きるような支援に努めている。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	ご本人を意向を尊重し、季節に合った服装、その人らしさが保たれるように声かけ、 提案、用意している。		
40	(15)	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを把握し、盛り付け、おし ぼり作り、配膳、後片付けなど、各々出来る ことを見守り・声かけしながら、一緒に行 なっている。		
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	管理栄養士による献立を基本にしながら調理している。 体重の変化を見て、量をコントロールしている。 、水分摂取量・食事摂取量は、チェック表にて		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人のカに応じた口腔ケ アをしている	毎食後、声掛け、誘導にて口腔内の清潔保持に努めている。義歯利用者はつけ置き洗浄を行なっている。 定期的な訪問歯科を検討中。		

白	外		自己評価	外部評価	П
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	
	(16)	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンに合わせ声掛けし、トイレでの排泄、排泄の自		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	繊維食品・野菜・果物・水分等勧め、個々に 応じ予防に取り組んでいる。		
45	(17)	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調・希望を考慮し進めている。		
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠できるよう、日中の活動量を確保 し、昼夜逆転しないよう注意をしている。 居室の湿温度調整を注意している。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	服薬チェック表にて、飲み忘れのないよう注意している。個別に薬ケース(顔写真付き)で管理している。症状の変化の確認に努めている。 毎日の体調報告をDrにしている。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意分野・好みの情報を共有し、一 人一人に合った支援をしている。		
49	(18)	〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出か けられるよう支援に努めている。又、普段は行け ないような場所でも、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら出かけられるように 支援している	その日の体調・希望・天候等によって、散歩 や買い物にお誘いしている。 季節の行事(運動会・桜まつり・敬老会)に も意向を伺いながら、参加の機会を設けて いる。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	西
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		所持したり使えるように支援している	基本的にホームで管理しているが、個々に 応じて所持したり、スタッフとの買い物時に 使えるよう支援している。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	希望があった場合、できるよう支援してい る。		
52	(19)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	好みのBGMを取り入れたり、季節ごとに ディスプレイを替えたり、季節の花を生けた りしています。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	共用スペースで利用者同士が過ごせるよう、明るさ・温度に配慮し、飲み物を勧めたり、居心地の良い空間作りに努めている。		
54	(20)	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	馴染みの家具・飾りを活かし、ご本人・ご家 族と相談・工夫・安全に居心地良く暮らせる よう配慮している。		
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	各居室・トイレ・風呂場等がわかるよう、名 前を大きく掲げている。		